

### 決算委員会あれこれ・・・

9月議会は6日（金）にスタートして26日（木）に閉会しました。今回は主に2018年度決算を審査しました。高石市では「事務事業評価」をしていません。つまり、ひとつひとつの事業について費用対効果が分らない状況です。

たとえば現在、保健センターには保健師など市の職員が常駐できなくなり、ガランとした空間で委託事業者による「リビング・ラボ」（生活の社会実験）や「健康ポイント事業」などが行われています。委託しているのは「高石市健康のまちづくり協議会」。会長は阪口市長です。そこに8,000万円以上の税金が高石市から「負担金」として払われました。でも、実際にその負担に見合う成果が出ているようには見受けられないのです。私達の払った税金は一体どのように使われているのでしょうか？

その他にも「最少の経費で最大の効果」をあげるという観点から見て納得出来ない支出が多く、会派としては決算認定には反対という結論になりました。しかし採決の結果、賛成多数で認定されました。詳しくは議会のウェブサイトより、審議の録画中継を是非ご覧下さい。



山敷めぐみ事務所では、その時々でテーマを決めて講師をお呼びしたり、山敷が高石市政や議会の話をしたり、皆様とのフリートークをしたりしています。※お越し下さる際は下記連絡先までご一報ください。

- 10月19日（土）フリートーク 14時～15時半 事務所にて（参加無料・要申込み）
- 10月26日（土）14時～第16回憲法カフェ（下迫田浩司弁護士をお招きして）資料代：500円 要申込み

### 第2回「市民の声」議会報告会（通算28回）

- 11月2日（土）議会報告会 13時30分より  
パンセ羽衣
- 11月16日（土）議会報告会  
10時より 東羽衣公民館  
13時より 中央公民館

発行： 山敷めぐみ（会派：市民の声） 連絡先（事務所）：高石市羽衣5-14-13  
megumi28@gmail.com 072-262-3979

高石市議会議員 山敷めぐみ（無所属） 議員活動報告

# めぐみ通信

Vol. 34  
9月議会特集



## 市民みんなで小学校に！

高石市には小学校が7校あります。そこに地域の誰でもがいつでも行ける場所を作っては？と9月議会で提案しました。ピーク時（1981年）には約7,200人もいた児童が現在は約2,900人。普段、使っていない教室もあるでしょう。そこを有効に活用できれば素晴らしいと思いませんか？



このような学校のあり方は「コミュニティスクール」と呼ばれ、国（文部科学省）も奨めています。

コミュニティスクールの目標は「子どもたちの成長を教職員と一緒に支える、学校の課題を地域の力を借りて解決する、そして地域の課題の解決にも繋げる」ということです。

たとえば、赤ちゃん先生として乳児と保護者が中学校を訪問するとか、地域の人と給食を一緒に食べるとか、全国では色々な関わり方が始まっています。



先行して県内全域で取り組んでいる山口県ではコミュニティスクールの成果として

- ☆児童の学習意欲が高まった（88%）
  - ☆いじめ・不登校・暴力などの生徒指導上の課題が改善した（63%）
  - ☆地域が活性化した（81%）
- などの評価がされています。

（山口県教育委員会「山口県におけるコミュニティスクールの導入と充実に関する取組について」より）



例えば2014年に視察に行った大分県中津市では、毎朝10分の小テストの採点を地域の方にお願ひし、その間に担任は個別指導をしています。また、家庭科(ミシンや調理)などの授業に地域の力を借りるそうです。その結果、子どもたちと地域の繋がりが生まれ、また、先生方もゆとりをもって授業ができるようになりました。高齢者の大きな生きがい・楽しみにもなっているとの事でした。



さらに良い事がたくさん!

- ◆多世代の交流が可能となること
- ◆多くの大人が声を掛け励ますことは子どもの自己肯定感を育てること
- ◆子どもが自分とは考え方も行動も違う相手に対し、お互いの個性を認め合い「私もOK、あなたもOK」と思えることで、いじめ・不登校が減ること
- ◆学校が安心できる場所になること。そのことで落ち着いて勉強できること
- ◆その結果として学力向上にも必ず繋がってくる

・・・下表のように、高石市では少し学力に課題があります。この状況を好転させるためにも、是非コミュニティスクールを導入して欲しいと考えます。みなさんはどう思われますか?

◆全国学力・学習状況調査(高石市) A区分:知識 B区分:活用

平成30年度 本市の校種・教科・区分別正答率

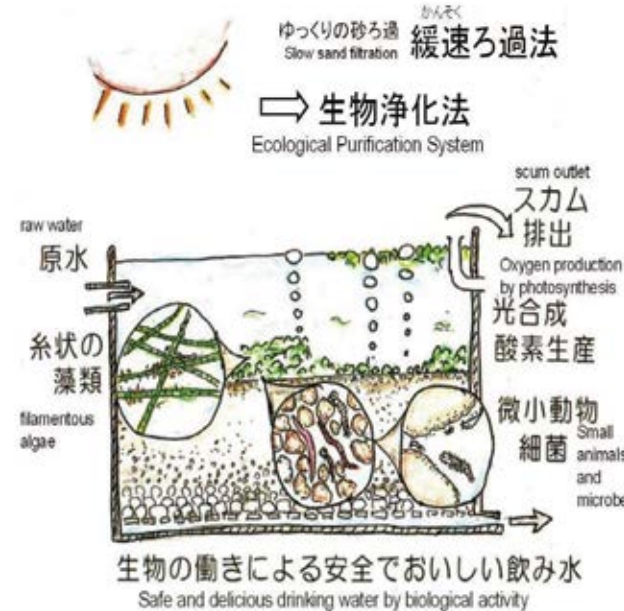
小学校	平均正答率			中学校	平均正答率				
	高石市(公立)	大阪府(公立)	全国(公立)		高石市(公立)	大阪府(公立)	全国(公立)		
国語	A区分	67	68	70.7	国語	A区分	72	75	76.1
	B区分	50	52	54.7		B区分	55	59	61.2
算数	A区分	64	63	63.5	数学	A区分	63	65	66.1
	B区分	50	51	51.5		B区分	41	46	46.9
理科	59	57	60.3	理科	59	64	66.1		



さらに災害時にもコミュニティスクールは有効です!

小学校は災害の時、地域の避難所になります。普段から小学校に地域の人々が集まって顔を合わし、言葉を交わすことで繋がりが生まれます。それがいざという時、大きな力を発揮することは、数々の災害で証明されています。

信太山浄水場、続報!



めぐみ通信 Vol. 33 (8月発行)でお伝えしたように、光明池を水源とした信太山浄水場を廃止する、という動きがあります。現在、高石市では水道水の約25%が光明池からです(残り75%は淀川から)。

淀川からの水は、大和川(外環状線付近)を水管橋で越えてきます。それだけに頼ってしまうのは、災害時を考えると不安です。

せつかく緩速ろ過(生物浄化)法という素晴らしい浄水施設があるのですから、これを大切にすることが市民の命を守ることに繋がるのではないのでしょうか。

2019年9月12日朝日新聞朝刊

**微生物浄化の水道 残して**

信太山浄水場 廃止方針

高石、泉大津、和泉の3市に水道水を供給してきた泉北水道企業団の信太山浄水場をめぐり、3市の超党派市議が存続を訴えている。市議らは「微生物を使った浄水方式で環境に優しく、災害時の水源としても有用」と主張。一方、企業団は「老朽化が深刻」として2021年春に廃止する方針だ。

水道の浄化方式

水道水の浄化には緩速ろ過、急速ろ過、膜ろ過、消毒のみの四つの方法がある。緩速ろ過の砂層にいる微生物の作用でゆっくり浄化する緩速ろ過が戦前は一般的だったが、戦後は薬品を注入して濁りを速く取り除く急速ろ過が普及し、現在は全国の計画浄水量の8割を占め、緩速ろ過は4%弱。府内では信太山浄水場以外に、高槻、河内長野、貝塚の3市と能勢町に計6カ所あるが、規模は小さい。

地元市議ら「改修を」

今年7月、3市の市議約10人が、中本信忠・信州大名警務隊長とともに和泉市の信太山浄水場を視察した。中本さんは、藻と微生物の働きで水を浄化する「緩速ろ過」の研究の第一人者。1962年に送水を始めた信太山浄水場も、府内では希少な緩速ろ過方式だ。信太山浄水場の水は単独で2割ほど安いこともあり、3市は同浄水場の使用を延長し続けたい。ただ、現在、延長し続けるには70億円ほどかかる。災害時の水の備蓄も十分あり、市民に負担を強いてまで水を保持し続ける必要はない。廃止方針に理解を求めている。山敷町・高石市議は「緩速ろ過のままの1部改修なら費用はそれほどからず、機能も十分維持できる。大阪広域水道局の耐震化が進んでおらず、災害時の水源として浄水場の存続を市民に呼びかけていきたい」と話す。

(吉田博史)

めぐみ通信前号にハガキを付けたところ、切手が必要だったにも関わらず50名以上の方々からコメントと共に返信頂きました。本当に嬉しかったです。ありがとうございます。

「水道水の25%が信太山浄水場からとは知らなかった」「廃止には反対」とされる方がほとんどでした。引き続きご意見をお待ちしております。

皆様から頂いたお声を市に伝え、信太山浄水場の存続に向けて取組みます!

